

守谷市立黒内小学校 教諭 藤井 靖子  
つくばみらい市立小絹小学校

I 研究テーマについて

学習指導要領の第1節の目標の中で、第3・4学年内容A表現(1)「材料や場所などを基に造形遊びをする活動をする」を受けている。身近な場所を利用し、自然の材料の形や色、材質などから思いついたり考えたりしながら、自分らしい方法で表す活動である。さらに、友達との交流を基に、新たな発想をしたり、表したい構想を練ったりする創造的活動である。

学習指導要領第1節図画工作の目標では、「表現及び鑑賞の活動は、それぞれ独立して働くものでなく、お互いに働きかけたり、働きかけられたりしながら、一体的に補い合っって高まっていく活動である。」と示されている。これは、鑑賞などの活動の中で自分のイメージに気付いて、表現活動の展開を図れるようになることだと考える。

これらのことから、A表現(1)造形遊びでは、身近な場所や材料が相互にかかわり合いながら、全身を使って形をつくり出したり、友達と考えを交換したりするような展開が重要だと考える。そこで、表現活動の中に鑑賞する場面を設定することで、自分の活動を振り返ったり、友達の発想や表現のよさからヒントを得たりでき、よりよい表現を求めて深めることができると考えた。このことから、造形的な創造活動の基礎的な能力が高められると考え、本テーマを設定にした。

1 研究のねらい

「造形遊び」における言語活動の場面の設定を通して、発想豊かに自分らしく表現する力を育てるための学び合いの在り方を究明する。

2 研究の仮説

- (1) 製作途中の中間鑑賞会において、自己の見方や考え方のよさを認識できる中間鑑賞の場の設定を行えば発想の豊かさに気付き自分らしく表現する力が育っていくだろう。
- (2) 小グループの学び合いで、造形遊びをして感じたことや友達の気づきのよさを継続記述する活動を行えば、新たな見方や感じ方が広がり、表現する力が育っていくだろう。

3 主題に迫るための具体的な手立て

- (1) 製作途中の段階で、グループや集団全体での学び合い、感性をゆさぶる支援などにより、中間鑑賞を進め、表現力を高める。
- (2) 学び合いの中で、「見る」「感じる」「伝え合う」活動を繰り返し行い、個人だけでなく集団全体の見方感じ方を深め合う。
- (3) 自分の思いや友達のアドバイス、感想の記述の仕方を工夫することにより、表現する楽しさを味わわせる。
- (4) 計画カード・振り返りカードなど書かせ、見通しをもたせる。

II 研究の実際

1 題材名「石ころんアート」

2 題材の目標

- ① 画用紙や画板の上に石を並べたり敷き詰めたり、積み上げたりしながら、自分のイメージに気付いて造形遊びができる。また、中間鑑賞をし、友達との交流を基に、新たな発想をしたり、表したい構想を練ったりして、創造的活動ができる。
- ② 校庭の小絹山(芝山)など身近な場所に、いろいろな形や色の石(材料)を並べたり敷き詰めたり、積み上げたりしながら、自分のイメージに気付いて造形遊びができる。また、中間鑑賞をし、友達との交流を基に、新たな発想をしたり、表したい構想を練ったりして、創造的活動ができる。

3 題材について

- (1) 児童の実態 アンケートの実態

<実態調査>

(調査人数第3学年1組31人 平成26年7月実施)

質問内容	調査結果
1 造形遊びは好きですか。	はい 21名 どちらでもない 9名・ いいえ 1名
2 製作するとき何もしらなくて、困ることがありますか。	ときどき困る 14名・ ほとんど困ることはない 11名 全く困ることはない 4名・ いつも困る時がある 2名
3 アイデアが浮かばない時はどうしますか。	教科書や参考作品を見る 10名・ 自分で考える 7名 友達に聞く 6名・ 友達のまねをしてみる 5名・ 先生に聞く 3名

本学級の児童は、絵や立体、工作で表現することや、材料を使って造形遊びを楽しむことが大好きである。しかし、造形遊びについて、自分の思いをうまく表現できないときは、「材料や参考作品を参考にする。」「自分で考える。」という児童が多かった。また、作品ができると、教師には「できた。見て。」と作品を見せるが、自分の思いを友達の前で表現することは苦手とする児童が多い。

このことから、身近な活動場所の設定や、人と材料とのコミュニケーションが必要となる。コミュニケーション能力が育つことで児童一人一人の表現が広がり、新たにつくりだす喜びにつながると思う。

(2) 題材観

いろいろな形や色の石を並べたり、敷き詰めたり積み上げたりしながら、楽しい絵や模様を生み出すことが浮かび、抵抗感をもつことなく造形遊びを楽しむことができる題材である。まず、材料と出

会い、特徴や組み合わせから思い浮かんだことを形にする活動を、思う存分個人で表現させる。そして、いつも遊んでいる芝山(小絹山)を活動の場に設定する。一人で活動する楽しさや友達と活動する楽しさを味わわせることで、心も解放され、子どもたち一人一人がのびのびと表現できると考える。さらに、これらの活動を通して、友達と協力して活動する楽しさが味わえると考え本題材を設定した。

(3) 指導観

指導にあたっては、材料との出会いを大切に、前半は、室内で「石と工夫して遊ぼう。」と呼びかけ、たくさんの石を紙の上で自由に触れさせる。そして、繰り返し並べたり、積んだりするなどして、個人で自由に表現させるようにする。製作途中において、中間鑑賞を設定し、友達と作品を互いに「見る、感じる、伝え合う」活動を行う。

また、後半は、屋外に出てグループで造形遊びをする。前半と同様に、製作途中において、グループや集団全体での学び合い、中間鑑賞を進める。このように鑑賞を工夫すれば、新たな製作の見方や感じ方が広がり、自分らしく表現する力が育つと考える。

4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
石の色や形に関心を持ち、並べたり積み重ねたり、敷き詰めたりする活動を楽しもうとする。	材料の特性や組み合わせなどから思いをふくらませ、表しかたを考えることができる。	材料を並べたり積み重ねたり、敷き詰めたり、並べたりするなどして、石の形や色を生かして、思いついたことを形に表すことができる。	自然の材料のよさや友達の活動のよさ、工夫しているところなどを見付けよと思った方法を取り入れることができる。

5 指導と評価の計画(7時間扱い)

※○印は時数

時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 ③	「石ころんアート」 「石ころを使って、工夫して遊ぼう。」 ～画用紙・画板で～(個人) ・活動内容を知り、材料となる石を触り、形や色の違いを感じながら、どんなことができるか試してみる。 ・材料の特徴や組み合わせから思い浮かんだことを形にする。 ・中間鑑賞活動で友達とイメージの交流(見る、感じる、伝え合う)を行い、材料の特徴や組み合わせから思い浮かんだことを工夫しながらつくる。	・材料を集めたり、材料の紹介をしたりして、どんなことができるか試している。 【関】【観察、学習カード】 ・材料の形や色などをもとに、自分の思いを広げながら、楽しく工夫している。 【想 創】【観察、記録写真、作品、学習カード】 ・友達とアイデアを話し合いながら、表現活動を楽しもうとしている。 【鑑 想】【観察、作品、学習カード】 ・自分や友達のよいところを見付け、さらに工夫しながらつくる。【創】【観察、記録写真、作品、学習カード】
第2次 ①	・作品の記録写真を互いに見せ合い、鑑賞会をする。	・自分や友達のよさに気付いている。 【鑑】【観察、記録写真、学習カード】
第3次 ②	「石ころんアート」 「小絹山で、石ころを使って工夫して遊ぼう。」 ～小絹山で～(グループ) ・活動場所を体全体で感じながら、どんなことができるか試してみる。 ・グループで活動場所を確認し、材料の特徴や組み合わせから思い浮かんだことを形にする。 ・中間鑑賞活動で友達とイメージの交流(見る、感じる、伝え合う)を行い、材料の特徴や組み合わせから思い浮かんだことを工夫しながらつくる。 ・各グループで話し合っ、更に構想を練り合う。	・小絹山の様子を生かしながら、石の形や色に関心を持ち、形や色などをもとに、自分の思いを広げながら、楽しもうとしている。【関】【観察、学習カード】 ・場所の特性や材料の形や色などをもとに、自分の思いを広げながら、さらに発展させている。 【想 創】【観察、記録写真、作品、学習カード】 ・グループ同士でアイデアを話し合いながら、発想を交換したり、組み合わせたり、表現活動を発展させ、楽しもうとしている。 【鑑 想】【観察、作品、学習カード】 ・グループ同士で場所の特性をもとに、アイデアを交換したり、組み合わせたり、表現活動をさらに工夫しながらつくる。 【創】【観察、記録写真、作品、学習カード】
第4次 ①	・作品を互いに見せ合い鑑賞をする。	・他のグループの作品を見ながら、気付いたことや友達との活動で共感したこと発表する。 【鑑】【観察、記録写真、学習カード】


6 指導の実際

【実践1】 第1次「石ころんアート」

(1) 目標

材料の感触を味わい、材料をたくさん並べたり、敷き詰めたり、積み上げながらしながら、造形遊びを工夫して活動することができる。また、中間鑑賞で、「見る、感じる、伝える」活動を繰り返すことにより、新たな発想をしたり、表したい構想を練ったりして、創造的活動ができる。

- (2) 準備・資料  
 教師 画用紙(画板), 石(玉砂利:白・黒・青緑), ボックス(石入れ) デジタルカメラ, 電子黒板,  
 手順掲示, 振り返りカード  
 児童 道工具箱
- (3) 展開

学習内容・活動	指導・支援上の留意点及び評価 ☆は、主題に迫るための手立て
<p>1 本時の学習について確認する。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">石ころを使って, 工夫して遊ぼう。</span></p> <p>(1) 石ころを触り, 形や色の違いを確認する。</p> <p>2 製作活動をしなが, 中間鑑賞する。  (1) 形・色・操作の仕方を確認する。  (2) 紙の上で石を操作する。  (3) 自分の作品への思いを伝え合う。</p> <div data-bbox="121 689 686 1433" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>中間鑑賞</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>石の形 石の色</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p><b>アイデア</b></p> <p>試しなが つくる</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>並べ方 並べる 敷き詰める 積み上げる</p> </div> </div> <p style="text-align: center;"><b>学び合い</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>自分の思い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>友達の思い</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">ペア 全体で交流</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「見る」「感じる」「伝える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな形や色がいいね。</li> <li>・こんな並べ方おもしろいね。</li> <li>・こんなこと, 思いついた!</li> </ul> </div> </div> <div data-bbox="121 1545 686 1971" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <p>(中間鑑賞の様子)</p> </div> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>4 次時への見通しをもつ。</p>	<p>・石の色, 形の紹介をすることにより, 材料のよさに気付かせ製作意欲を掻き立てる。</p> <p>・画用紙の上で, 自由に操作し, 思いついた形に製作し, 次に思いついた形に変形してもよいことを確認する。</p> <p>・石でどんなことができるか, 自分の思いを伝え合いなが, 製作することを確認する。</p> <p>・表現した形を写真に撮ることで, 意欲や集中が持続するように支援する。</p> <p>☆第3・4年の共通事項(A表現及びB鑑賞)ができるように表現活動の中に鑑賞する場の設定を工夫する。</p> <p>・中間鑑賞の時間をとり, ペアで, 形・色, 並べ方のアイデアを話し合い, 自分の思いを伝えたり, 相手のイメージをつかむ活動をおとして, 表現のおもしろさを味わえたりするような場を設定する。</p> <p>☆友達の表現方法や作品に触れ, 自分の思いや感じたこと, アドバイスなどを伝え合うように話す。</p> <p>☆自分のイメージに近づくよう友達と意見交換したり, 製作へのアドバイスを出し合ったりしている場を取り上げて, 中間鑑賞を表現につなげる手助けとする。</p> <p>☆自分の作品に対する思いや友達の作品の感想を伝え合うことにより, 次々に形を変えたり, 活動場所を変えたりしながら表現力を高める。</p> <p>・友達のアドバイスも参考にして作品を改良するように話す。</p> <p>・なかなか活動できない児童には, 「並べる, 積み上げる, 敷き詰める」等, 一緒に操作しながら確認し, 意欲と自信をもたせる。</p> <p>・友達との話し合いを通して, よりよいものにするための工夫をしている児童を取り上げ, 互いに認め合う関係を深める。</p> <p>・どのような工夫をしたのか発表を聞いたり, 作品を見たりする場を設定する。個人だけでなく, 集団全体で作品への見方, 感じ方を深めるように促す。</p> <p>⑧ 製作途中においての中間鑑賞で, 自分の作品への思いや表現の工夫を相手に伝え, 友達からのアドバイスを参考にし製作活動にいかそうとしている。  (つぶやき・発表・ワークシート・作品・写真)</p> <p>【規準に達しなかつた児童への手立て】  他の児童の作品を見たり, 聞いたりして感じたことを一緒に製作する。</p> <p>・ワークシートを使い, 製作や活動の感想などをワークシートに記録させる。</p> <p>・次時の活動に見通しをもてるようにする。</p>

(4) 活動の様子

過程 (1) 材料や場所の出合いや相互にかかわり合いながら発想が広がるような指導を工夫

導



石ころんアート		今日の自分は何かな?	
名前	時間	ひょうか	今日の自分は何かな?
1	石ころんアート (黒川川をのびてみた)	ひょうか	たいへんよくできた まあまあできた なんとかできた
2			

C:どんな、形にしようかな・・・  
石の色は、黒や白などある・・・

C:石を見て、何が出来るか、ただ重ねていったら、ピラミットという言葉がでてきた。だから、ピラミットに

入

(2) 製作途中において、自己の見方や考え方の良さを認識できる中間鑑賞の場の設定の工夫

製



C:どんな、模様にしようかな・・・

T:どうして、このような形にしてみたの？

C:大きな口にしたくて、黒い石を敷き詰めてみました。

C:石の色も考えているね。

C:アイデアが思いついた!

中間鑑賞

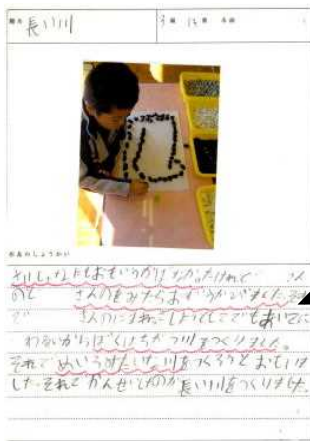
作  
⇕

中

間

鑑

賞



最初に、思い浮かばなかったけれど、〇〇君を見ていたら、思い浮かびました

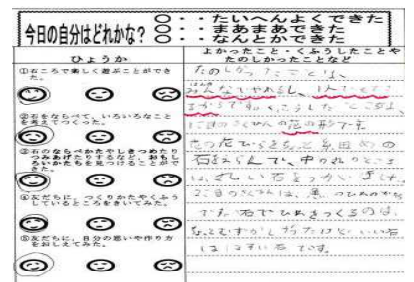


石を並べ、発想が広がっていく様子

アイデアが広がる瞬間

(3) 鑑賞カード・計画カード・振り返りカードの工夫

鑑



見る側・見られる側が触発されるポイントカード

瞬間、瞬間つくった作品の写真保存&鑑賞&振り返りカード

振り返りカード

賞

**実践2** 第3次「石ころんアート」

(1) 目標

校庭の小絹山(芝山)など身近な場所に、いろいろな形や色の石(材料)を並べたり敷き詰めたり、積み上げたりしながら、自分のイメージに気付いて造形遊びができる。また、中間鑑賞をし、友達との交流を基に、新たな発想をしたり、表したい構想を練ったりして、創造的活動ができる。

(2) 準備・資料

教師 石(玉砂利:白・黒・青緑)ボックス(石入れ)、デジタルカメラ、電子黒板、手順掲示、振り返りカード

児童 道具箱

(3) 展開

学習内容・活動	指導・支援上の留意点及び評価 ☆は、主題に迫るための手立て
<p>1 本時の学習について確認する。</p> <p>小絹山で、石を使って、工夫しながら遊ぼう。</p> <p>(1) 活動する場所を確認する。 (2) 活動するルールを確認する。 (3) 石を活動する場所に運ぶ。</p> <p>2 製作活動しながら、中間鑑賞する。</p> <p>(1) 小絹山のそれぞれの場所の様子から石の色や操作を考える。 (2) グループで考える。 (3) 思いを伝え合いながら、活動する。</p> <div data-bbox="118 846 699 1684"> </div> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>4 次時への見通しをもつ。</p>	

指導・支援上の留意点及び評価  
☆は、主題に迫るための手立て

- ・小絹山で活動することを伝え、石でどんなことができるか自分の思いを伝え合いながら、製作することを確認する。
- ・小絹山の高さ、斜面、広さなどに注目させ、いつも遊んでいる場所の空間が自分たちの力で変化するというおもしろさを話し合い、意欲が高まるようにする。
- ・グループでどのような活動をするのか、お互いに自分の思いを伝え合いながら、製作することを確認する。
- ・前時に考えたグループのめあてやルールを確認する。
- ・石を自由に操作し、思いついた形にして製作し、次に思いついた形に展開してもよいことを確認する。
- ・石でどんなことができるか、自分の思いを伝え合いながら、製作することを確認する。
- ・表現した形を写真に撮ることで、意欲や集中が持続するように支援する。

☆ 第3・4年の共通事項(A表現及びB鑑賞)ができるように、表現活動の中に鑑賞する場の設定を工夫する。

- ・グループで、形・色、並べ方のアイディアを話し合い、自分の思いを伝えたり、相手のイメージをつかむ活動をとおして、表現のおもしろさを味わえたりするような場を設定する。

☆ 友達の表現方法や作品に触れたり、自分の思いや感じたこと、アドバイスなどを伝え合うように話す。

☆ 自分たちのグループの作品に対する思いや、他のグループの作品の感想を伝え合うことにより、次々に形をかえたり、活動場所を変えたりしながら表現力を高める。

- ・友達のアドバイスも参考にして作品を改良するように話す。
- ・グループどうして話し合う時間をとり、互いに思いを伝え合い、構想を練る時間を保障する。
- ・なかなか活動できない児童には、「並べる、積み上げる、敷き詰める」等、一緒に話し合い操作しながら確認し、意欲と自信をもたせる。
- ・友達との話し合いを通して、互いによりよいものにするための工夫をしている児童を取り上げ、互いに認め合う関係を深める。

② 製作途中においての中間鑑賞で、自分たちのグループの作品への思いや表現の工夫を相手に伝え、他のグループからのアドバイスを参考にし製作活動にいかそうとしている。  
(つぶやき・発表・ワークシート・作品・写真)

【規準に達しなかった児童への手立て】  
他のグループの作品を見たり、聞いたりして感じたことを一緒に製作するなど支援する。

(中間鑑賞: グループどうして話し合い、構想を練っている様子)

- ・ワークシートを使い、製作や活動の感想などを記録させる。
- ・次時の活動に見通しをもてるようにする。

(4) 活動の様子

過程 (1) 材料や場所の出合いや相互にかかわり合いながら発想が広がるような指導を工夫

導 入



C:小絹山は、いつも遊んでいる場所だけれど、高い所、低い所、急斜面な所、平らな所、くぼんだ所があるよ。

製作 (2) 製作途中において、自己の見方や考え方の良さを認識できる中間鑑賞の場の設定の工夫

作

中間鑑賞

話し合い  
アイデアが広がる瞬間

C: どうでしょうか？  
C: 敷き詰めてみようか…

C: 何を  
つくって  
いるん  
だろう？

T: ○○のグループは、どうして  
○○を考えたの？

C: もうすぐ、  
クリスマスだ  
から、小絹  
山をクリスマ  
スのふんい  
きにしたいと  
思う。

C: 2班と6  
班で力を  
合わせて  
つくろうよ。

C: 川で、泳いで  
いるところです。

再製作



鑑賞 (3) 計画カード・振り返りカード・記録写真の工夫

鑑賞



### Ⅲ 研究の成果と課題

#### 1 成果

##### (1) 中間鑑賞の提示

- 発想の豊かさに気付き自分らしく表現する力を育てるためには、製作途中の中間鑑賞を行うことが有効であった。
  - ・グループや集団全体での自分の思いや考えを話し合うことや感性をゆさぶる教師の支援を行うこと。
  - ・自分の活動を振り返ったり、友だちの発想や表現のよさからヒントにしたりすることから自分の活動を振り返らせること。

##### (2) 学び合いの中で「見る、感じる、伝え合う」活動を繰り返す。

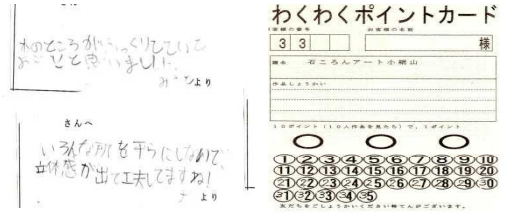
- 個人だけでなく集団全体の見方を深め、コミュニケーション活動も高めるには、学び合いの中で、「見る」「感じる」「伝え合う」活動を繰り返し行うことが効果的であった。
  - ・鑑賞の仕方をペア、グループ、全体と形式を変え、見方や感じ方を、思いが伝わるようにする。
  - ・個人鑑賞を行う中で、「見る」「感じる」など言葉をそのまま聞き流さず、教師が思いを引き出させる場やタイミングを工夫する。

##### (3) 感想の記述の仕方を工夫

- 表現する楽しさを味わわせるには、感想の記述の仕方を工夫することで効果があった。
  - ・アドバイスカードを渡したり、わくわくポイントカードでポイントシールを貼ったりしたりするなど、情報交換がしたくなるように工夫する。
  - ・作品を見て感じとったことやアドバイスされたことから、表現する力を高められる。

##### (4) 学習の見通しをもつ工夫

- 学習の見通しをもって造形活動をするには、自分の思いを表現することで大切である。計画カード、振り返りカードを使うことで効果的である。
  - ・自分や友だちの製作活動や作品のよさを振り返ることができ、作品のよさ美しさを発見することで鑑賞する喜びを味わうことができる。



(アドバイスカード・ポイントカード)

##### (5) その他 (材料の工夫・ICT活用の工夫)

- 小石は、自由に操作し造形活動を楽しむことができる素材であることから、単独で製作したり、自由に人数を変えたりしても製作することができる。
- デジタルカメラや電子黒板を活用することで、作品を見て振り返ることができたり、視点を変えて自分の作品を見たりできる。

#### 2 課題

- (1) 最初から、一人、グループ活動すると決めるのではなく、単独で製作したり、自由に人数を変えたりしても製作する形にしておくよかった。
- (2) 屋外に出て造形遊びをする際、活動する場所が広がりルールを守りながらの活動するため、サブリーダーのサポートが必要である。
- (3) 玉砂利を準備することは難しいので、ペットボトルや蓋など普段から集めて活用するとよい。



(画板を使うことで、組み合わせる活動)



(電子黒板で鑑賞会)

#### (参考文献)

- ・小学校学習指導要領解説 図画工作編 文部科学省